

持続的な成長に向けた取り組みについて

- **製品価値最大化**
- **グローバル事業の拡大と加速**
- **パイプラインの強化**

- 世界初のPD-1免疫チェックポイント阻害剤
- 14がん腫で適応を取得
- 国内累計売上は1兆円以上
- 当社の成長を牽引、成長投資の原資獲得、利益還元への貢献



継続したライフサイクルマネジメント

新製剤（皮下注製剤）、配合剤（Opdualag）、適応拡大（希少疾患）

⇒ **パテントクリフの影響を緩和（2031年以降も一定の収益を確保）**

当初：個社体制

キンロックの市場拡大、ロンビムザの上市を最優先にした運営

現在：協業体制

新規プロジェクトのグローバル開発に重きを置いた一体感のある協業



deciphera[®]
a member of
ONO PHARMA

相乗効果



グループ一
体で
開発推進



ONO ONO PHARMA

新製品の上市予定

パイプラインの強化

ONO

2026年6月18日現在

2024年度

2025年度

2026年度

2027年度

2028年度～

欧米


QINLOCK®
 消化管間質腫瘍4L


ROMVIMZA®
 腱滑膜巨細胞腫


Tirabrutinib
ONO-4059
 中枢神経系原発リンパ腫


QINLOCK®
 消化管間質腫瘍2L
 KIT Exon 11+17/18

継続的なスペシャリティ製品の上市へ

日本を含めグローバルに展開

Sapablursen
ONO-0530
 真性多血症

ONO-4685
 T細胞リンパ腫/自己免疫疾患

ONO-4578
 胃がん1L (オプジーボ併用)

ROMVIMZA®
 慢性移植片対宿主病

ONO-2808
 多系統萎縮症

日本

オプジーボ
 MSI-H 結腸・直腸がん1L

セノバメート
ONO-2017
 てんかん部分発作

オプジーボ
 肝細胞がん術後補助療法

ベレキシブル
 天疱瘡 2L

オプジーボ
 皮下注製剤

オプジーボ
 肝細胞がん 1L

QINLOCK®
 消化管間質腫瘍4L

QINLOCK®
 消化管間質腫瘍2L

ROMVIMZA®
 腱滑膜巨細胞腫

ビラフトビカプセル
 (FOLFOX)
 結腸・直腸がん 1L

povetacicept
ONO-8531
 IgA腎症/慢性腎症

Gel-One®
ONO-5532
 変形性関節症

セノバメート
ONO-2017
 てんかん部分発作 小児/
 てんかん強直間代発作

小野薬品

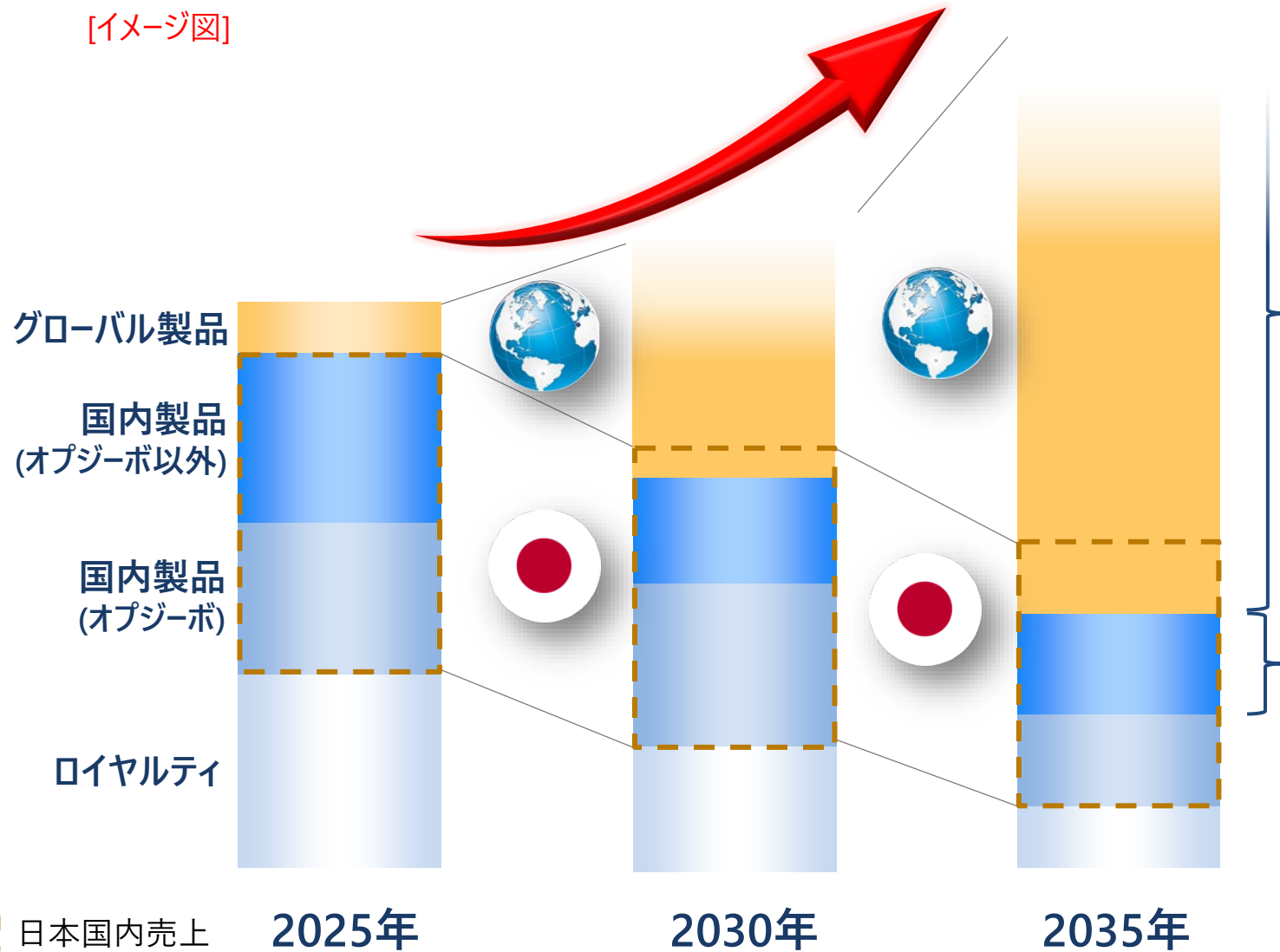
デサイフエラ

<p>対象疾患</p>	<p>胃がん（1次治療）</p> <ul style="list-style-type: none">胃がんは国内で患者数の多いがん種のひとつ（年間新規患者数：約10万人）様々な治療薬が上市されるも5年生存率は依然として6～7割程度
<p>作用機序</p>	<p>プロスタグランジン受容体（EP4）拮抗作用</p> <ul style="list-style-type: none">当社の長年のプロスタグランジン研究から生み出された化合物オプジーボと併用することにより有効性を増強
<p>開発状況</p>	<p>フェーズ2試験（日韓台）データ発表（6/1 ASCO：米国臨床腫瘍学会）</p> <p>⇒標準治療を大きく上回る試験結果（明確な上乗せ効果を確認） 死亡リスクを40%減少、PD-L1陽性においては死亡リスクを56%減少</p>
<p>今後の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none">胃がんについて、本年度中に国際共同フェーズ3試験開始予定結腸・直腸がんにおいてもグローバルでフェーズ2試験実施中ピークセールス（予想）：グローバルで1,000億円以上（胃がんのみ）

<p>対象疾患</p>	<p>多系統萎縮症（MSA）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行性の神経変性疾患（主な症状：筋肉のこわばり、歩行困難、立ちくらみ等） ・病態進行が非常に速い難治性の希少疾患（平均余命：9～10年） ・現時点で根本的な治療法はない
<p>作用機序</p>	<p>S1P5受容体作動作用</p> <p>病気によって破壊された髄鞘の修復を促進し、MSAの原因となるα-シヌクレインの異常な蓄積を抑制することで病態進行を緩和</p>
<p>開発状況</p>	<p>フェーズ2試験（日米）の中間解析において、有効性シグナル、安全性を確認（5/27 世界パーキンソン病学会（米国）にて結果発表）</p> <p>⇒ 日常生活に支障をきたす症状の進行を抑制、脳萎縮の進行を抑制（MRI評価）</p>
<p>今後の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度中にフェーズ3試験を開始を目指し準備中 ・ピークセールス（予想）：グローバルで1,000億円以上 ・現在治療法のないMSAと闘っている患者さんに新たな治療選択肢をお届けする

将来の売上成長イメージ

[イメージ図]



成長ドライバー

パイプライン	ピーク売上予想 (億円)
グローバル	
QINLOCK (GIST)	500 – 700
ROMVIMZA (TGCT)	500 – 700
Tirabrutinib (PCNSL)	200 – 300
Sapablursen (真性多血症)	500 – 1,000
ONO-4578 (胃がん)	1,000 ~
ONO-2808 (多系統萎縮症)	1,000 ~
日本*	
Povetacicept	500 ~
Cenobamate	
Gel-One®	

*記載した3品以外も含んだ想定ピーク売上の合計
2026年6月18日現在

 **小野薬品工業株式会社**

Dedicated to the Fight against Disease and Pain